

やくよ
厄除け用墨

G0213

世界のムスリムのくらしー同時代を生きる

インド



ビャクダン

白檀を浸した布を芯にして、ひまし油を燃やしたランプでできた墨が原料。インドではムスリムだけではなく、ヒンドゥー教徒も用いる。アイライナーのように眼のまわりに指で薄くひく。眼の健康によいとされ、また美容用品としても使うが、邪視ジャシと呼ばれる災いから身を守る効果があると信じられていて、邪視に弱いとされる乳幼児の眼にもつけることがある。

【三尾先生からのひとこと】

邪視は中東から南アジアにかけて広く信じられている災いで、誰かをねたむ人の視線が、ねたまれた相手に病気やさまざまな不運を引き起こすというものです。この墨が邪視よけに効果があるわけとしては、墨が邪悪な視線を吸い取るからとか、美しい眼をわざと黒くすることでねたみの感情を起こさせないからなどという説があります。